



今号の主な内容	衆議院議員選挙 …………… 2面
	指定管理者制度について …………… 3面
	アスベスト問題に関するお知らせ …… 4面
	公園・緑地の名称募集 …………… 5面
	介護保険施設等の利用料が変わります …… 6面
	青少年育成講演会 …………… 7面

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表) 福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

やすらぎ いきいき 輝く街 ふっさ の実現を目指して

福生市輝き市民サポートセンター

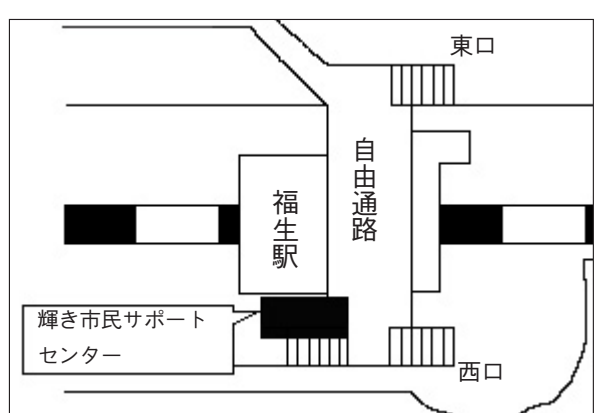
10月1日(土)オープン



輝き市民サポートセンター(以下「センター」)は、まちづくり、環境、福祉、社会教育、文化、国際協力、災害救援など、あらゆる分野の公益的な市民活動をサポート・支援するための施設です。市では、このセンターを10月1日(土)に開設します。

センターは、活動のための打ち合わせや印刷作業、情報収集・情報発信、他団体との交流の場として利用できます。まちを活性化し、動かすのは「あなた」です。一人でも、団体でも気軽にお立ち寄りいただき、さまざまな活動の場としてご利用ください。

問合せ 協働推進課 協働推進・男女平等推進担当



会議スペースをご利用ください

市民活動関連の行政等の情報、市民活動団体の情報をデータベース等を作って公開します。関連図書をはじめ、インターネット検索ができるパソコン等が配備されます。

また、活動をアピールする展示コーナーやPRコーナーもご利用できます。あなたの団体の情報をお寄せください。

施設概要

所在地 福生市プチギャラリー (JR 福生駅西口) 4階、福生10-14-10

利用時間 午前10時～午後7時
休館日 月曜日、年末年始

施設設備等

○ 会議スペースと交流スペース
交流会、ミーティング、会議、情報交換など、交流の場として活用してください。一人でも気軽にお立ち寄りいただき、さまざまな市民活動情報をご覧ください。

○ 作業スペース
コピー、印刷、紙折機などを活用して、作業の場として活用できます。なお、コピー、印刷は有料です。

○ 相談コーナー
行政および市民(市民活動団体)等からの情報提供を受け、NPO、ボランティア、まちづくりなどの市民活動に関する相談におこたえします。

○ 市民活動の学習会開催
サポートセンターが開催する市民活動の理解と参加促進を図るための研修会や講座等に参加できます。

福生市輝き市民サポートセンター開設を記念し、市民のボランティア活動や町会・自治会活動の役割などをテーマに講演会を開催します。

日程等詳細が決まりましたら、「広報ふっさ」でお知らせします。

なお、談話等に利用できるオープンスペースは予約なしで無料で随時利用できます。

▼ ただいま、10月1日以降11月30日までの会議室の予約を協働推進課で受け付けています。

市民活動を行うには、個人または団体が利用できます。

▼ 市民活動とは、市民が主体的、自発的に行う営利を目的としない公益的な活動であって、宗教活動、政治活動は除きます。

▼ 輝き市民サポートセンター内の会議スペース(10名～20名程度利用可能)を利用するには事前に団体の登録が必要で、利用は予約制です。

市民活動を行っているか、これから行おうとしている個人または団体が利用できます。

▼ 市民活動とは、市民が主体的、自発的に行う営利を目的としない公益的な活動であって、宗教活動、政治活動は除きます。

▼ 輝き市民サポートセンター内の会議スペース(10名～20名程度利用可能)を利用するには事前に団体の登録が必要で、利用は予約制です。

6割の市民は、自分の保険を掛けた上にこの金も負担していることになりました。その分、一般会計の仕事ができません。国保税は一人当たり平均月額5千円くらいです。払わなければ10割自己負担になります。自分のことだけでなく、皆で助け合いながら、心豊かに安心して生活を送りましょう。国保税の納入が大変な方は、ぜひ市にご相談ください。

交通人身事故だけで市内で年約600件以上発生しています。いつ何があるかわかりません。国保は、国保税と国や都の負担金、交付金、法定の市の負担金等で運営されなければならぬ特別会計(一般会計とは別)ですが、国保税の納入状況が悪く、一般会計から多額の金(約6億円程度)年度によって違います)をもらって運営しています。

国民健康保険
病気や事故でのケガなどの時、私たちはお医者さんにかかります。その時の医療費の7割(それ以上の人もいます)は、保険でみてもらっています。

会社等で各種保険制度に入っている人を除き、互助制度としての国民健康保険制度があります。福生市民の約4割はこの制度で医療等を受けています。

きんもくせい

喫煙マナーアップキャンペーンにて

福生市長 野澤久人